

# 日本認知科学会第31回大会のご案内（第1号通信）

日程：2014年9月18日（木）～20日（土）

場所：名古屋大学IB電子情報館  
（名古屋市千種区不老町）

大会webページ

<http://www.jcss.gr.jp/meetings/JCSS2014/>  
（準備中）

大会委員長 齋藤洋典（名古屋大学）  
実行委員長 三輪和久（名古屋大学）  
プログラム委員長 川合伸幸（名古屋大学）

## 1. 大会委員長挨拶

日本認知科学会第31回大会を2014年9月17日（水曜日）から19日（金曜日）の会期で、名古屋大学がお引き受けすることに成りました。認「知」を愛「知」で、二種類の「知」をつなぐ名古屋大学内の学会会場は、地下鉄の名古屋大学駅の改札口から一分で結ばれています。

日本認知科学会も設立からすでに30年を過ぎ、私たちはその轍を振り返りつつも、新たな出発の時期を迎えようとしています。認知科学の当初の目標は、何がどこまで実現され、何が残され、さらに何を目指して歩み続けようとしているのでしょうか。

知をめぐる認知科学の経緯を踏まえ、新たな一歩を踏み出すために、今大会のテーマとして「今一つの知：fantasy一歩前」を掲げたいと考えております。知をどのように捉え理解するかは、時代の潮流の中で変わってまいりました。同様に、私たちの掲げるテーマの意味も、人の立ち位置によりまして、一様ではありません。

変わらない知と、変わる知とを不易流行として一抱えにし、さて、私たちは変わろうとしているのでしょうか、変わらずにいようとしているのでしょうか。不易と流行の知をつなぎ、結ぶ、あるいは切り離す「もう一つの知」があるのでしょうか。

一握の真実を逃すまいと固く握りしめる手と、それを確かめようとそっと開く手とは、同じ手の異なるはたらきなののでしょうか。それとも一つの知の異なるあらわれなののでしょうか。

永く、そして広く受け入れられてきましたように、

理解できないものを理解すること、理解したいと「強く願う」ことが知の大切な探求であります。他方、理解していないのに理解したような印象を与えることにも人の知の不思議はあります（ペンローズ、心の影）。なにより、そうした印象を与えたいと「密かに願う」ことにも、知のファンタジーとしての原初的なもう一つの側面が隠されているのではないのでしょうか。

立場を異にする人々が胸襟を開き、語り合うことから始まった黎明期の認知科学は「知の総合的な探求」を掲げてきました。それは、一方で知のファンタジーへの希求でもあります。

皆様のファンタジーの交流が実り多いものと成りますように、スタッフ一同、第31回大会に向けて新たな企画の準備に努めて参ります。多くの方々のご発表とご参加をお待ちいたしております。

## 2. 大会発表申込

### 2.1. 発表資格

論文執筆者のうちの少なくとも一人が日本認知科学会の正会員または学生会員であるか、2014年3月末までに入会手続きをすませることが必要です。

### 2.2. 申請カテゴリと形態

例年通り、申し込み時はアブストラクトのみの受け付けとし、プログラム委員会で採否を決定します。

#### a) 口頭発表・ポスター発表

発表を希望する方は、2000字（1000 words）程度のアブストラクトを提出してください（現在進行中の研究については、1000字程度のアブストラクトも受け付けます）。図や表、文献リストは字数としてカウントしません。発表形態として、「口頭」「ポスター」「フラッシュトークポスター」（講演会場でのパワーポイントによる1分程度の概要のトークの後にポスター会場に移行。2日目夕方に実施予定）「どちらでもよい」のいずれかを選んで申請してください。ただし、いずれになるかの決定は、プログラム委員会にご一任下さい。

#### b) ワークショップ

タイトル、狙い、発表者の構成などの企画案を提出してください。形式は自由ですが、わかりやすいものをお願いします。会場の制限により、すべての

提案が採用されるとは限りません。採否の決定はプログラム委員会におまかせください。

### 2.3. 締め切りなど重要な日程

#### a) 重要な日程

論文発表申し込み期間

：2014年3月3日（月）～2014年4月7日（月）

ワークショップ

企画案締め切り：2014年4月7日（月）

査読結果の連絡（予定）：2014年6月2日（月）

発表論文集掲載用原稿提出期限（予定）

：2014年7月14日（月）

#### b) 申し込み

発表申し込み（Web）

<http://www.jcss.gr.jp/meetings/JCSS2014/entry>  
（準備中）

ワークショップ企画申し込み（E-mail）

[jcss2014-pc@jcss.gr.jp](mailto:jcss2014-pc@jcss.gr.jp)（[at]を@に置き換え）  
までお送りください

#### c) 参加申し込み・参加費用

参加の事前申し込みもオンラインで行う予定です（準備中）。大会参加申し込み費用は以下の通りです。早めにお支払いいただくと幸いです。

大会参加費(円)	会員		非会員	
	一般	学生	一般	学生
早期登録 (7月12日まで)	6,000	3,000	9,000	6,000
通常登録 (7月13日以降)	7,000	4,000	10,000	7,000

振り込みは、下記銀行口座をお願いします。

三菱東京UFJ銀行本山支店（店番670）

口座番号 0077207

口座名称 日本認知科学会第31回大会（ニホンニ  
ンチカガクカイダイサンジュウイツカイタイカイ）

なお、大学・企業等に属する方が公費で支払い手続きをされる場合、会員名がわからずに困ることがあります。どなたの分の参加費かを特定するのに手間がかかりますので、所属組織経由で振込をされる場合は、次の情報を「大会参加申し込み時に」実行委員会 [jcss2014@jcss.gr.jp](mailto:jcss2014@jcss.gr.jp)宛（[at]を@に置き換え）にご連絡ください。

- ・いつ、どの銀行から、誰の名義で振り込んだか（当該組織の会計担当者・職名になることがあります）

複数名の参加費をまとめて振り込む場合も同様に、

明細をお知らせください。領収書は、大会当日の配布資料とともに受付でお渡しします。

### 3. 査読

発表申し込みのアブストラクトは、最低2名の査読者をつけ、内容についてのコメントを付して採否の決定を連絡します。発表全体のバランスを考えて、希望以外のカテゴリ（口頭・ポスター）での発表をお願いすることがありますのでご了承ください。

### 4. 大会発表論文集原稿

発表が採択された場合は、仕上がり10ページ以内の発表論文集用完成原稿と、パンフレット用の200字の要旨を書いていただきます。この原稿は、大会と同時に会員に公表され、さらに大会後半年を目安にJ-STAGEなどの電子的な手段により一般に公開される予定ですので、ご承知ください。

発表論文集掲載用原稿は提出期限までに、大会ホームページから完成原稿をPDFでご送付ください。PDFが作成できない場合は、上記期日までに印刷された原稿を郵送してください。その際、宛名面に「発表論文集原稿」とお書きください。

〒464-8601

名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院情報科学研究科

メディア科学専攻

JCSS2014 プログラム委員会 川合伸幸

なお、発表論文集は紙媒体ではなく、CDの形での発行を予定しています。またページ数の上限は10ページとしますが、けっしてページ数を増やすことを推奨するものではありません。読者の利益を念頭に、図表等を有効に活用しながら明瞭・簡潔な原稿執筆を心がけてください。

### 5. 査読者の公募

本大会の投稿原稿の査読をお手伝いいただける会員を広く公募いたします。2014年3月3日（月）までに、ご氏名、査読連絡用メールアドレス、査読可能分野、査読可能本数、査読経験（対象と年数、査読経験のない方は研究略歴）を以下のページからご登録ください（準備中）。

<http://www.icss.gr.jp/meetings/JCSS2014/reviewer/>

(準備中)

## 6. 大会発表賞

すぐれた若手発表者に対して大会発表賞(口頭発表・ポスター発表)を授与します(予定)。大会発表賞の対象者の条件は、以下の通りです。

**条件1:** 本学会会員(正会員・学生会員)である。

**条件2:** 生年が1981年以降である。

**条件3:** 所定の大会発表手続きが済んでいること。

**条件4:** 第1著者であること。

大会発表賞の選考対象になることを希望される方は、参加申し込み時に生年の登録をお願いします。

## 7. 問い合わせ先

大会運営一般に関して:

jc2014[at]jc2014.gr.jp

大会発表、査読、プログラム一般:

jc2014-pc[at]jc2014.gr.jp

([at]を@に置き換え)